

平成 28 年度第 3 回技術委員会議事録

会議名	金属・セラミックス技術委員会	主催者：電気学会
日時	平成 28 年 10 月 12 日(水)15:30～17:00	場所：(社)電気倶楽部 C 会議室
出席者	吉川(横国大)、岩城(日立)、一瀬(電中研)、窪谷(東芝)、水野(鉄道総研)、日高(産総研)、伴野(NIMS) 【敬称略】	

【配布資料】

- 1) 281012-1 前回 (H28/7/14) 議事録 (案)
- 2) 281012-2 電気学会 金属・セラミックス技術委員会 名簿
- 3) 281012-3 平成 28 年度 金属・セラミックス技術委員会役割分担
- 4) 281012-4 第 5 回調査専門委員会議事
- 5) 281012-5 12 月論文特集号に関する高木先生のメール
- 6) 281012-6 超電導人材育成事業「超伝導スクール 2016」開催について
- 7) 281012-7 電気学会の研究会の御案内
- 8) 281012-8 H27 年度金属・セラミックス技術委員会見学会
- 9) 281012-9 平成 28 年度 金属・セラミックス技術委員会活動計画

【議事】

1. 前回議事録の確認
 - ・ 資料 281012-1 に基づき前回議事録の確認を行い承認された。
2. 名簿の確認
 - ・ 資料 281012-2 に基づき名簿が確認された。
3. 役割分担の確認
 - ・ 資料 281012-3 に基づき各委員の役割分担について確認された。
4. 調査委員会活動状況
 - ・ 資料 281012-4 に基づき、吉川委員長より位相エンジニアリングに基づく低温エレクトロニクス調査専門委員会活動状況が報告された。
 - ・ 技術報告書を作成する方向で進める。次の運営委員会の際に解散報告書を提出する。解散後、新規の調査専門委員会を立ち上げる。
 - ・ 技術報告書の販売のため、2 月の国際会議には間に合わせたい。
5. 12 月論文特集号の企画について
 - ・ 資料 281012-5 に基づき、吉川委員長より報告があった。最終的には 5 件出すことができた。
6. ASCOT との研究会およびフォーラムの共同開催について
 - ・ 資料 281012-6 および 281012-7 に基づき、12/16 開催予定の研究会「若手ポスター発表会」、および 12/12 「講義」をフォーラムでの共同開催にするかどうかについて議論された。研究会に関しては、

登録締切 (10/21)、プログラム作成提出日 (10/28)、原稿執筆依頼日 (11/4)等が決定し、電気学会 HP 上に申込窓口が既に作成されている旨、報告があった (ただし委員会数日後、申し込み時期等を 1 週間延長した)。

- ・ ASCOT 事業との共催で申し込み等が少し複雑になったため、申込方法・手順に関して整理した。後日の日高委員より、ASCOT「超電導スクール 2016」は全企画参加でなくても構わない旨、連絡があった。また、「講義」会場については東大武田ホールを予定していたが、使用料金が 9 万円と高額なので、空いた教室を無料で使用することとなった。そうすると参加費を取る必要がなく、12/12「講義」を電気学会フォーラムとするメリットがなくなるため、フォーラム共催案はなくなった。(後日、日高委員より、結局会場変更は行わず、「講義」は武田ホールで開催されると連絡があった。)
- ・ ASCOT「超電導スクール 2016」登録者向けの、電気学会研究会の案内状については吉川委員長が作成する。参考のため、現時点での ASCOT 事業登録者に関する情報を日高委員に調べてもらい、吉川委員長へ連絡する。それを基に、関係各位に案内状を送信することとした。
- ・ 研究会発表者を学生および 35 歳以下の社会人としていたが、若手向けへの指南的発表ということで、本人の意思次第でその制約に縛られないこととした。

7. 古河電工見学会 (1 月 12~13 日)

- ・ 取りまとめを水野委員が担当する。
- ・ 当初、1/12~1/13 を予定していたが、後日木村委員よりその期間は鬼怒川荘が休館となる旨、連絡があった。これを受けて再度日程調整することとなった。

8. 平成 28 年度活動計画

- ・ A 部門大会での金セラ委員会ポスターの紹介を石崎委員にお願いしていたが、石崎委員が本技術委員会を欠席されていたので次回に報告をお願いする。
- ・ 調査専門委員会に関しては、特集号をもって解散報告の代わりとすることも可能 (窪谷委員より) だが、すでに 12 月に特集号を発行することが決まっている。どうするのか吉川委員長と藤巻調査専門委員会委員長とで相談する。
- ・ EINA マガジンは、別の技術委員会が発行する英文誌になったので執筆の必要はない。